



中国から残留孤児を育てた養母をお招きして開催！

中国養父母を知る シンポジウム

2015年12月12日(土) 午後1:30～4:00

阿智村中央公民館ホール 参加無料・申込不要

残留孤児という存在やその人々が辿ってきた苦労はこれまで様々な形で報じられてきましたが、その子供達を育てた中国養父母の存在はあまり知られていません。

戦後の中国社会で迫害や差別を受け苦労をした人々がいた一方で、敵国日本の子供を我が子のように慈しみ育てた養父母もいました。戦後70年、養父母達も高齢となり話しを聞く機会はなくなりつつあります。どのような思いで育てたか、その純粋な深い愛情を日本の皆さんにも知っていただき、戦争の愚かさと同時に国や民族を越える人と人の繋がりや尊さを多くの人々と共有したいと思えます。

発表者 (通訳あり)

◇ 胡 曉慧さん: ハルビン市日本孤児中国養父母連絡会名誉会長

医師。ハルビンにて残留孤児や養父母の支援活動をするボランティア団体の代表。

◇ 李 淑蘭さん: 残留孤児を育てた養母 (聞き取り形式)

1927年10月生まれ。1945年10月、ハルビンで日本人の5歳の女の子をひきとる。
1981年にその女性は肉親が見つかり日本へ帰国。

◇ 多田清司さん: 飯田下伊那地区中国帰国者連絡会代表 (聞き取り形式)

1939年4月喬木村に生まれる。上久堅村開拓団として渡満。敗戦後、両親と死別し
中国人夫婦にひきとられる。1976年に日本へ帰国。

◇ 小林勝人さん: 飯田日中友好協会理事長

飯田下伊那にて長年中国帰国者の支援活動に従事。

主催 / 満蒙開拓平和記念館 飯田日中友好協会